



# 議 会

によどがわ

# だより

2014.2  
第34号



森分団  
ポンプ車操法の部優勝

(前列：小型ポンプ操法3位の用居分団、後列：森分団)

NPO法人について

庁舎建設 20～30年後を見越して

避難勧告何を基準に

通学歩道整備を早急に

大崎小閉校へ

議員研修報告

十二月定例会



私が防災無線です

「ゆっくり話そう、心がけています。」

岡林

高知県仁淀川町議会

TEL 0889 (35) 0111 / FAX (35) 0571 / 発行人: 議長 片岡政徳 / 編集: 議会だより特別委員会 / 印刷: 賀佐川印刷所

# 一 般 質 問

25年 第7回定例会が、12月3日・4日に開かれた。

一般質問に9人が、当面する課題について活発な議論を展開した。

議 会 議 員

任期最後の議会です

## NPO法人について

答 住民の理解、協力を得て

問

野村安夫

自然学園後地に計画している移住体験施設に対し、NPO法人を指定管理者とする条例制定や契約締結前に地元に対する説明がなかった事への反発と、乗馬治療に対しても、糞尿で畑などに環境汚染の悪影響が出るのではと反対の声が上がっている。

地元説明会の1回目、2回目の説明内容の違い、議案を提出前の説明が不十分であるが、今後の対応はどうするのか。

答

町 長

12月13日に3回目の説明会を開き、今後の施設利用に関し意見を聞き、

住民の理解、協力を得て、有効活用を検討する。

問

野 村

反対理由を把握、払拭し、説明を十分にして住民の理解を得るように努

力してもらいたい。

答

町 長

町としての施設を、地域のため、仁淀川町のため上手く活かしていきたい。



池川自然学園



陥没の多い町道

## 町道 小郷線に関して

問 野村

町道小郷線に陥没が多く、通行に支障があるのではないか。

答 町長

平成27年度にかけて、大規模林道下土居用居線合流点から4500mの区間につき、国の補助事業を導入した舗装整備に取り組む。  
緊急を要する箇所については、町単独事業で随時補修する。

問 野村

町道は、早目の点検、修理を。

答 町長

大変重要な事で、適正な管理に努め、安全通行のため、道の管理にも努める。

## 池川大渡地区 沈下橋について

問 野村

ガードレールは無理としても、車止めの設置は。

答 池川地域振興課長

抵抗が増すと、また流失の恐れがある。原型復旧が災害復旧事業の原則でもあり、構造については厳しいが検討する。

問 野村

集中豪雨で沈下橋が崩壊し、橋が完成した。住民から十分でないと聞か。

答 津野池川地域振興課長

現在は、仮橋の状態であり、橋梁への進入部分での拡幅が不十分であると考えるが、本工事の早期完成に向け取り組んでおり、ご理解を。



池川大渡地区の沈下橋（大王橋）





## 庁舎建設 20～30年後を見越して

答

環境に優しい施設を

問

西森常晴

新庁舎建設は、喫緊の課題だが、中央公民館、大崎診療所も含めた、20～30年後を見越した全体計画が必要と思うが。

答

町長

公民館は、新庁舎にコミュニティセンター的機能を併設することができれば、新たに建設する必要はないのではないか。

診療所は、入院機能を存続するかどうかが大きな鍵になる。現時点では判断できない。

問

西森

基本設計を発注するには、発注仕様に確固とした仁淀川町のアイデンティティーを示す必要があると思うが。

答

竹本総務課長

新庁舎は、災害時に拠点となるところだ。耐震化は元より、環境

問

西森

に優しい施設作りを目指したい。

先般、奈良県十津川村を視察し、立派な議場を見てきたが、本町では、固定化した議場は必要としない。

休会中は、会議室とか、災害時にも使用ができる多目的機能を有したものにすべきでは。

答

総務課長

そういう方向で検討したい。

## 大崎小は 保育所に

問

西森

寺村、名野川、大崎小学校の建物の今後の利用方法は。

答

大野教育長

寺村小は取り壊す方向で、名野川小は利用方法を検討中。  
大崎小の1階は、大崎保育所として利用。2階は検討中。

## 笑美寿茶屋 リニューアルしたい

問

西森

使い勝手の悪い、笑美寿茶屋をリニューアルしないか。

答

町長

観光情報の発信基地として、必要な施設なので、前向きに検討する。



笑美寿茶屋



## 定住促進は

答

地域に馴染んでもらう  
よう重視

## 問

農本規仁

急峻な地形の本町へ何人が移住し、空き家の改修に県・町の支援ほどの程度できているか。

受け入れ側、移住側ともに不安・要望・不満などあろうが、地域担当職員を活用し、情報を庁内で共有、積極的に定住してもらうよう関与していく事が重要と考えるが。また、空き家が少なくと聞が、今後の展望は。

## 答

町 長

昨年から8世帯13人が移住し、相談件数は43件。内、移住相談員を設置した本年度は、6世帯10人で効果があったと思う。改修費用は、上限50万

円で、工事費100万円まで補助対象。申請などスムーズに行えるよう移住相談員が対応する。

要望には、就農支援の方法や、畑を紹介して欲しいなどの声が多く、担当部署の紹介や、地区の方に畑の情報を聞き、地主を探すなど、定住できるよう心掛けています。

現在、空き家の情報が少ないため、所有者に対し制度の説明や各地区で情報収集を行い、希望者により多くの情報提供ができるよう考えています。今後は、移住者が地域に馴染んでもらえるよう重視していきたい。

## 問

農 本

土佐のおきやく、おもてなしの心の対応を。

## 答

町 長

地域おこし協力隊も頑張っていると思うが、地域を覚え、人を知ったら3年で終わりとは。

移住者から、隣の人が野菜を持ってきてくれたという声もあり、おもてなしの心は大変大事で行政も力を入れていく。

相談員は後につながつていく形を考え、地域おこし協力隊も3年の助成はあるが、もう少し力をもらいたい。

本人も頑張り、一定の方向に見出したい強い意志があれば考慮していく。



大阪から上名野川へ移住された平山さん夫婦（家から明神山を望めます）

## 植林整備に森林課を

### 答 積極的に検討



問 片岡政徳

町長は、自然と共生した魅力ある町づくりを信条としている。

仁淀川町は山林89%、その植林の整備が計画的とは思えない。

森林課を作り、推進し、谷、川、道路周辺の植林を整備すれば、深層崩壊防止、動植物の保護にもつながる。

岡山県西粟倉村では40人の職員で、2人の専従員を置き、100年の森林構想を打ち立て森林を再生しているが。

答 町長

森林行政の推進は、町の最重要課題で、林業プロジェクトチームを設置するなど取り組んでいるが十分とは言えない状況である。

森林課の設置は、林業行政の推進には大きいと思うている。

新たな課の設置は人員不足を生じ、行政サービスの低下を招く恐れはあるが、森林行政の積極的な推進ができる体制を早期に実現できるよう積極的に検討する。

問 片岡

森林課を作り、積極的な植林の整備をし、自然の中で住民が生活できる町づくりを。

答 町長

来年度は、合併10周年の節目、町づくり計画を見直し、新しい計画の中に林業施策を位置づける。

答 大野仁彦地域振興課長

家、道路付近の間伐、枝打ちは進めるべきと考える。

## タクシー券助成を 75歳以上に

◀ 吾川タクシー



◀ 高木ハイヤー



◀ 池川ハイヤー



問 片岡

平成25年4月より、地域タクシー券の助成は80歳以上の希望者となっているが、利用率は7月末で32%と低い。現行の80歳以上では、良い制度であっても利用できる高齢者が多いのではないか。制度の利用を高めるため75歳以上にしては。

答 町長

地域タクシー券助成は高齢者の社会参加、地域経済の活性化を推進し、福祉の増進を図る目的で実施、対象は高齢者の交通安全など考慮し、80歳以上としている。

75歳では元気な方もおられるので、運転免許証返納者、免許証を持っていない者については、今年の実績を踏まえ、予算化に向け検討する。



## 避難勧告 何を基準に

答 基準、難しい

発令基準について、町防災計画では、災害が発生、または、発生の恐れがある時に発令するとなっていて、具体的な基準はない。今回は、北浦左岸の護岸を越流、増水の恐れがあると判断、避難勧告を発令した。

基準には難しい面もあり、自主防災組織の皆さんがたとえ勉強をしていく。

答 町 長

台風9号により河川が増水、土居川では、昭和50年災害に匹敵する雨量（94mm/時）で、土居地区では避難勧告が発令された。

増水時、何を基準に発令しているか、警戒水位はあるか、なければ基準を設置しては。

問 橋本真一



土居川の増水（平成25年9月）



## 通学歩道 整備を早急に

答

越知土木  
26年予算に要望

国道439号の田村から土居地区間は、カーブが連続し路側帯が狭小で、歩行者には危険な状況だが、散歩者も多く、健康増進上も重要な道だ。

25年度に吾川中が統合、26年度には大崎小学校の統合が決まっており、児童生徒の通学も見込まれる。

県議会などに整備要望等をしてきたところ、26年度整備に向けた調査検討を行うとの回答を得た。

越知土木から25年度補正予算、26年度当初予算に要望を行ったとの連絡も受けている。

答

町長

問

山口芳正

田村から池川小学校間の歩道整備は、どのような状況か。

問

山口

## 高齢者や障害者に 優しい施設づくりを

答

町長

本町は、高齢化率が高く、高齢者や障害者に配慮した施設づくりが大事だ。

公共施設の建築後に、利用者から苦情を聞く。

今後は、老人福祉などに詳しい人々の参画を求め、事業効果の高い利用しやすい施設づくりを。

答

町長

300以上の施設があり管理している。小中学校の校舎、体育館等は耐震性の

現有施設の調査、改善の計画は。

問

山口

庁舎建設検討委員には、社会福祉協議会代表や各地区から女性委員も人選し、利用効率を図っている。

が完了、本庁舎と仁淀支所などは検討中である。

整備済みの保健センターなどには色々な意見があり、利用者には不便をかけない方法を検討していく。特に、バリアフリー化が大変重要なので、十分留意した設計を考えている。

答

町長

15m以上の橋梁調査は終わっている。26年度までに改善計画を立て、27年度から5年間で実施する計画である。

答

大野産業建設課長

25年11月の調査で、舗装のみ割れており老朽化との関係はないとの報告を受けた。歩行者や車両の安全走行のため修繕を考えている。

問

山口

橋梁の耐震調査結果と北浦橋のクラック対策は。

## 橋梁の 耐震調査結果は



建築中の仁淀福祉センター（デイ棟）



## 蜂の対策は

問 山口

今年の夏は、蜂の巣が異常に多く、夏の猛暑の中で防護服を着ての作業は重労働で危険である。町で対応する考えは。

答 町長

例年に増して蜂の巣駆除の問い合わせが多く寄せられた。公共の場所は町で対応しているが、私有地の場合は町民課及び支所の防護服を貸し出している。

個人で駆除が困難な場合は、シルバー人材センタを紹介対応しているが、今後は早急の対応方法を検討していきたい。

## 観光施設などの運営は現状で良いか

問 山口

高度成長期に設置した観光施設などが、町費の支出により運営されている。老朽化も進んでおり、公益性の効果測定を基に見直しの考えは。

答 町長

町支出の補助金にはさまざまな制度がある。補助金交付要綱だけで50近くあり、複数のメニュー

を設けているものもある。全ての効果測定は難しいが、事業を絞って効果を検証、予算編成時に低いものは廃止し、効果の見込める事業に移行している。

合併支援の減少など、財政も厳しさが増す中で、これまで以上に効果検証に重点を置き改善に努める。



今年多かった蜂の巣

## 文化財の現状と活用計画は

問 山口

文化財の現状と活用の考えは。

答 大野教育長

町内文化財は、国指定5件、県指定6件、国登録5件、町指定20件、埋蔵文化財23カ所などで、仁淀観光センター、中央公民館、池川郷土館に各種民具類を展示し活用している。

秋葉祭りなどの他、毎年5月には仁淀川町の神楽、太鼓踊りなどの伝統文化を一般に披露する事業を実施、学校では町の暮らしを勉強する際に利用している。



仁淀川町の文化財（観光センター）



## 町民が安心して 暮らせる構想は

答 若者が定住しやすい  
環境づくり

### 問

岡田良成

庁舎建物など建築する  
位置名称を示し、内容の  
説明を。

### 答

片岡副町長

新庁舎位置は、現在の  
基幹集落センター、保育  
所、森林組合、駐在所の  
跡地。

商工会は庁舎へ併設。

駐在所は現在の位置から  
東、保育所は大崎小学校  
1階、2階は基幹集落セ  
ンター、プールは駐車場、  
森林組合移転は現在の庁  
舎、中央公民館は現在手  
を付ける予定はないが、  
新庁舎の方に一定のコミ  
ュニティー機能ができれ  
ば公民館機能を廃止して  
いく。

吾川中学校体育館、プ

### 問

岡田

ール、グラウンドは防災  
上の事もあり現状維持。  
校舎は一定の段階で取り  
壊す。大崎診療所は今後  
改築を検討していく。

庁舎建物は、将来の人  
口を考え悔いのない必要  
最小限度の考えで慎重に  
取り組むことを強く希望  
する。

### 答

町長

庁舎など建物は地域の  
拠点となる施設であり、  
基本設計が大事である。  
議会、検討委員会を取り  
組む。

### 問

岡田

仁淀川町の10年後の人  
口推計を問う。

### 答

片岡企画課長

現在人口6351人、  
10歳まで263人、10代371人、  
20代347人、30代415人、  
40代491人、50代727人、  
60代1042人、70代1  
215人、80代1119  
人、90代346人。100歳以上  
15人。  
平成22年国勢調査に対  
する10年後の人口推計  
は、23%減少、5千人。

### 問

岡田

5年先は5千人位と思  
う。なぜならば仁淀川町  
の中心に小・中学校がな  
くなる。大崎地区が空洞  
化になり30年先には町の  
人口が3千人以下になる  
のではないかと思う。将  
来を見据えた行政をすべ  
きだ。

### 答

町長

人口問題を含めて、町  
づくりを進めていく事が  
大事である。

### 問

岡田

農林業対策、若者が安  
心して定住について問う。

### 答

町長

農林業は大きな課題。  
特にお茶、林産物の需要  
が落ち込み、価格が低迷、  
後継者不足による農林業  
は大変厳しい状況が続い  
ているが、農産物の生産、  
集荷販路など流通の取り  
組み、林産物の活用でき  
る事業にも取り組む。  
若者定住用の宅地の整  
備、子育て負担の軽減、  
教育環境の充実、働く職  
場の確保、若者が定住し  
やすい環境づくりに取り  
組む。

### 問

岡田

農林業は、町の基幹産  
業、7、8年前から再三  
再四課の設置（専門職員）  
を訴えてきたが、町長答  
弁ではいつも検討するとい  
うことだけである。も  
う検討する段階は過ぎた、  
ノー、イエスの答弁を。

### 答

町長

今後、プロジェクトチ  
ームを作り、新庁舎がで  
きれば設置することを検  
討する。



大崎放課後子ども教室（12月末で休会）

# 高齢者対策は

問 岡 田

地域タクシー券は、高齢者からは感謝されている（80歳以上）。しかし、この制度は周知徹底されていないが、今後どのように周知するか。酒井医院の状況も説明を。

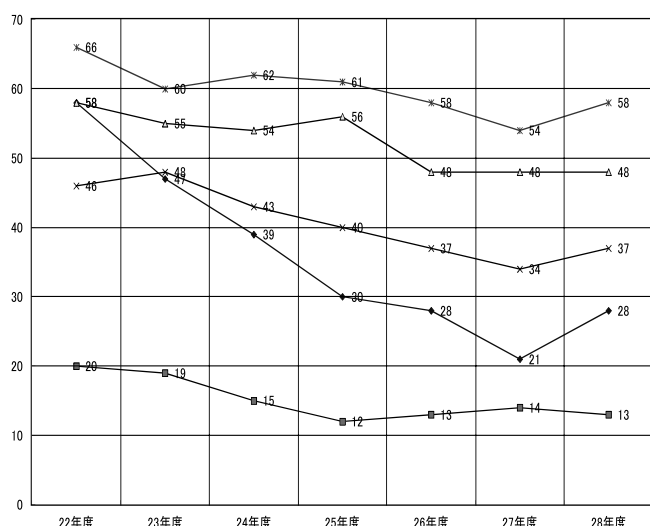
答 町 長

福祉施設、在宅、地域医療確保、病院、買い物、外出支援、宅配サービスを検討している。地域タクシー券は80歳以上の方には直接配布することを検討する。

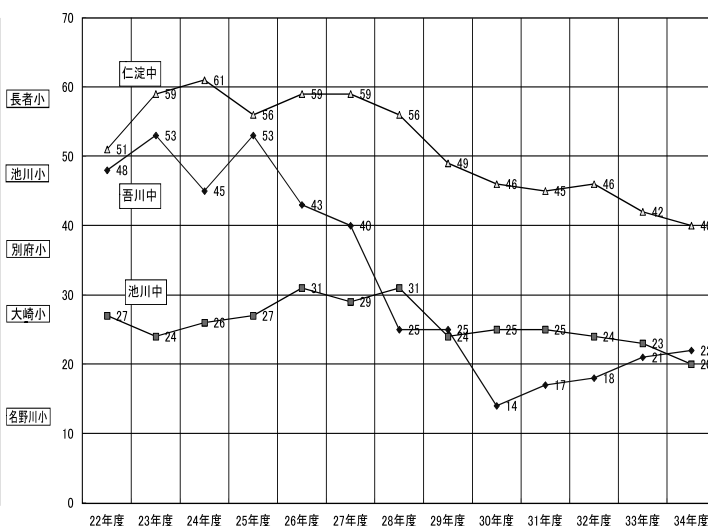
答 門田保健福祉課長

タクシー券は33%の交付率、区長会でも周知する。酒井医院は地域医療を守るため、四国厚生支局に対し、県医師会、吾川郡医師会、町長が保険医の再開業を陳情している。

児童数推計



生徒数推計



(平成22年4月現在推計)

# 大崎小 放課後子ども対策は

問 岡 田

大崎小学校放課後子ども教室はなぜ閉鎖するのか。

答 大野教育長

子供の減少で、規則に基づき放課後子ども教室を閉じる。

問 岡 田

子ども支援の報告があるが、教育長、町長、親の気持ちかわかるか。大崎小学校は3月に閉校、子どもの支援は今ではないか。

言っていることと違う行政に町民が不信感を持ち、町外に流出する恐れが心配だ。もし仮に執行部が財政面だけで考えているのであれば、その費用は私個人が出す。

答 教育長

行政、町でできることを精査し、対策を検討する。



## 学校給食 町内産はどのくらい

**答** 14.6%

**問** 藤野格昭

町内産の農産物の使用量は、現在どのくらいになっているか。

**答** 大野教育長

品質の管理や生産時期のずれ、産品の種類が少ないこともあり、4月より10月までの平均で、使用野菜件数全体の14・6％程度。

マッシュルーム・柚子酢・ブルーベリー・里芋などは、100％町内産。

**問** 藤野

100％町内産で、生産者と共に学校で給食を食べる日を設定しては。

**答** 谷平教育次長

25年度は、毎月19日を食育の日と定め、地元業者が考案した、地元食材を多く使ったメニューを食べながら、食育について話をする事業を行っている。

## 中学校 模擬議会は

**問** 藤野

昨年、何年ぶりで開催されたが、本年度は開催されていない。今後の開催予定は。

**答** 教育長

キャリア発達の上でも貴重な経験と位置付けているが、学校再編の初年度で多少の混乱も予想されることから本年度は、実施を見合わせた。来年度は実施できるよう調整していきたい。



一昨年行われた中学校模擬議会



私は大崎小学校でたくさんの思い出があります。

### 大崎小学校での 思い出

私が心に残っていることは、運動会の応援です。五・六年生でやりました。

最初は、ダンスや応援で言う言葉がなかなか決まりませんでした。運動会に間に合うかなと思う時もありました。でも家で考えたり、みんなと協力したりして考え、やっと決まりました。練習していくうちに声も大きく動きも大きくなりました。私は、自信が出てきました。本番は、今までで一番いい応援になりました。途中投げ出したくなる時もあったけど最後までがんばってやっつてよかったです。

大崎小学校は、今年で閉校するけど楽しい思い出がたくさんできました。中学校に行ってもがんばりたいです。

六年 黒川 結可



## 日曜市は

問

藤 野

当初の計画では、2年間の予定だったが、町の宣伝にはいい場所だと思う。継続していくことはできないか。

答

教育長

「仁淀川町で遊ぶ本」を年間6千冊以上配布。観光の問い合わせも4千件以上となり、出店は本町の情報発信など多くの成果を上げている。現在出店している11団体が組合組織を作り、続けていければと考えている。

## 防災 個別受信機は

問

藤 野

雑音が入り聞きとれない地区があるが、対策は。

答

町 長

屋外アンテナを取り付ければ解消する。町の経費で行っており、個人負担は不要。



学校給食

## 買い物弱者支援は

問

藤 野

6月議会の町長行政報告で、商工会において、買い物支援サービスの具体化について検討しているとの報告があったが、その後どのようなになっているか。

また、来年度からのサービスは可能か、日用品、食料品全てにおいてか。

答

町 長

11月に商工会、社会福祉協議会、ヤマト運輸(株)を交え協議した。26年度第1四半期の事業スタートを目指し、準備会を開催、制度開始時に多くの商店が参加し、買い物弱者の利便性が向上する制度設計を行う。生活必需品全般を考えている。

## コラム



### 大崎小学校の 思い出

私は、大崎小学校でたくさん思い出があります。

一位でした。女子も一位になれる心配でした。でも彩加ちゃんがアンカーでぎりぎり勝てました。タッチがほんの少し速かったからです。女子も男子も一位になれて、いい思い出になりました。次は、水泳記録会の後の学校宿泊です。おもしろかったのは、

きも試します。私は三人班でした。こわいんじゃないかとおもしろかったです。一番おもしろかったのは、理科室です。部屋を出ようとしたら、女の人が走ってきたので、前髪をめぐろうとしたら逃げたのでおもしろかったです。階段では、お面をした桜生君がおどかしてきたのでびっくりしました。

六年生になり心に残っていることは、水泳記録会です。最後のリレーで男子は

六年 大崎 穂花



## 入札 抽選多過ぎる

答 状況を見守る

問

若藤敏久

予定価格を公表する現在の入札は、落札業者を抽選で決めていることが異常に多い。  
設計金額を公表する以前の制度に戻したらどうか。

答

町長

抽選による落札業者の決定件数は倍増している。制度改正が原因と思うが、県や多くの市町村が予定価格を公表しており、当面は状況を見守る。

問

若藤

これまでの抽選は、地元業者が恵まれる結果となっているが、町外業者が落札すると地元の仕事が無くなるが対応は。

答

町長

最低制限価格で数社が競合している現状は今後の参考にする。



入札風景（イメージです）

## 業者の

## モラルに欠ける

問

若藤

町内に生コン会社数が数社あるにも関わらず、町外から、しかも生コン組合に加入していない業者の生コンを使用している業者に対し、指導をしたのか、黙認しているのか、業者の反応はどうであったのか。

答

喜村仁彦健康福祉課長

業者には、地元資材の使用をお願いしていた。住民より「町外のミキサー車がスピードを出し過ぎて怖い」との指摘もあった。

現場監督に伝え、社長には直接地元資材の使用をお願いしたがダメだった。JIS規格に適切しており、否定する根拠がない。

問

若藤

三省庁で決めている地域単価が維持できなければ、予定価格に影響する。業者は自分の首を絞めている事に気が付かないのか。

担当課長や町長の指導に従わない、モラルの欠ける業者は指名を見送るなど、毅然とした対応をして欲しい。

答

町長

地域雇用と地元資材の使用は企業として当然成すべきことであり、地元に対する貢献度で業者の評価も低くなる。

県と共に強い姿勢で指導するが、業者のモラルの問題だ。

# 大崎小閉校へ

教育長 大野 敏光

## 運動会

9月から10月にかけて、各学校では運動会、体育祭が行われた。

池川中学校と小学校がこれまで合同で行ってきた体育祭は、単独での実施となったが、改修された運動場で日頃の練習成果を発揮できた。

大崎小学校は、最後の運動会となり地域からも大勢の皆さんが参加し思い出に残る行事となった。

## 大崎小閉校へ

記念誌の発行作業や、3月22日の閉校式の準備は順調に進んでいる。

閉校後の活用として、大崎保育所機能をこの校舎におくための回収工事を行う考えで、設計委託を準備している。

## 学校表彰

高知県文教協会では、昭和48年から優秀な成績を上げた県内の学校を表彰する制度がある。

本年度池川中学校が選ばれ、11月29日高知文教

会館で授賞式があった。これを励みに学力の向上、体力づくりに一層力を入れていきたい。

## 学力向上

学力調査結果では、小学校、中学校ともに、ほぼ全国平均並みの学力という数値が出ている。

持ち前の力をすべて引き出しているか、といった点では学校ごとにも、一人ひとりの児童生徒についても様々な課題がある。

本町での学力を伸ばすため、9月から学校長を中心に学力向上対策会を立ち上げ、改めて、児童生徒の個々の課題や、結果の分析などを十分に行い、本町全体の学力向上につなげていくための具体的な取り組みを研究し、改善につなげていく活動を始めた。

## お詫びと訂正

33号14ページ「池中・仁中全国大会」中、7月4日とありますが、7月21日の誤りです。お詫びして訂正いたします。



## 大崎小学校の思い出

わたしが心に残ったことは、修学旅行と運動会での応援団長です。

とです。私は初めてジェットコースターに乗りました。上に上がり、一気に下に降りていくのが怖かったです。私は怖くて目をつむってしまいました。それに一気に降りていく時にふわっとなるのも怖かったです。でもまた乗ってみたいなど思いました。

運動会の応援団長で一番大変だったのは、みんなをまとめたり、大きい声を出したりすることです。でも楽しいこともありました。

六年生のいい思い出になりました。私は、大崎小が閉校に決まった時は悲しかったです。思い出がふまった学校が無くなるのは悲しいけど、池川中学校でもがんばりたいです。

六年 山田 彩加



県文教協会・学校表彰を受けた池中

# の部優勝

## 大石弘秋町長 行政報告

### 秋の叙勲

平成25年秋の叙勲が発表され、元仁淀川町消防団副団長の西森満生氏が瑞宝単光章を受章。

西森氏は、昭和44年に旧池川町消防団員拝命以来、分団長及び副団長を歴任、41年にわたり消防活動の第一線に立ち、水害・火災予防・消防力強化に献身的な努力を払われ、功績を認められた。

心からお喜び申し上げますとともに、今後とも健康には留意され、本町発展のために、ご指導、ご協力をお願いしたい。

### 職員の採用

一般職7人（男性5人女性2人）、管理栄養士1人（女性）、保健師1人（女性）を採用予定定者として決定。

一般職2人を1月採用とし、その他の者は4月1日採用を予定。



西森 満生 氏

### 広域消防無線のデジタル化

平成15年の電波法の改正に伴い平成28年5月までにデジタル方式に変更するよう求められている。デジタル無線のメリットは、割り当て周波数の

増加や通信の秘密性の向上、データ通信の利用等があるが、反面、電波到達距離の低下や障害物に弱いデメリットがある。

検討を重ね、事業費を抑えた計画を立て、広域消防本部・分署及び3町消防団のデジタル化を行うことになった。



池川地区の災害



# 森分団 ポンプ車操法

## 森分団 ポンプ車操法の 部優勝

10月13日の高知県消防操法大会において、森分団がポンプ車操法の部で優勝、用居分団も小型ポンプ操法で3位、総合の部でも本町が優勝。

日頃の厳しい訓練が報われたものであり、本町消防団の技術の高さが証明された。

来年開催される全国消防操法大会に県代表として森分団が出場することになった。

実力を十分に発揮し、優秀な成績を残されるよう期待する。

## 佐川警察署との協定

12月2日に、「仁淀川町の事務及び事業における暴力団の排除に関する協定」の調印式を行った。この協定は、仁淀川町暴力団排除条例を適正に運用し、町と警察署が暴力団の排除に向けて連携を強化するものである。

## 本庁舎建設

新庁舎は町民に総合的・効率的な行政サービスを提供する場であるとともに、今後のまちづくりに大きな影響を及ぼす重要な施設であるので設計に十分な時間をかけて進めていきたい。

他町村を参考に見ると、基本設計及び実施設計に15カ月程度、※プロポーザル方式で業者選考を行うと更に4カ月程度を要し、建設工事も1年8カ月程度かかると見込んでおり、完成は28年度末になる予定。

## 災害発生状況

台風17号では、(林道災9件、公共災3件)、23号では、(公共災1件)、27号では、(農業災2件、公共災2件、林道災3件)査定が終わり次第、早期に発注。

## 仁淀地域高齢者 福祉施設

高齢者生活福祉センター「なごみの里」及びデイサービスセンター「ひなた荘」は、来年4月の運用開始に向けて、民間のノウハウを活用し、柔

軟な管理運営やサービス提供ができるよう、公募による提案型の指定管理者の募集を行った。  
1団体より応募があり、公の施設指定管理者選定審議会を経て、今議会に指定の議案を提出している。

### ※プロポーザル方式

複数の者から企画を提案してもらい、その中からもっとも優れた企画を提案した者を選ぶ方式。



優勝旗を受け取る森分団員

# 議員研修報告 — 奈良県 十津川村 —

平成25年9月25日～27日に向け、「災害から学ぶ防災まちづくり」をテーマに、奈良県十津川村で研修を行った。

## 十津川村の被害状況

平成23年9月3日に高知県東部に上陸した台風12号は、奈良県南部に位置する十津川村に総雨量1358mmという記録的な豪雨をもたらし、死者7人、行方不明者6人、重傷者3人。・家屋などの全壊18棟、半壊30棟、床下浸水14棟。・山地崩壊75カ所、崩壊面積約260ha。・深層崩壊による土砂崩れが多数発生、堰止め湖（土砂ダム）も数カ所で確認、土砂崩れにより川が逆流し、発電所が破壊されるなど甚大な被害を被り、村内のほぼ全域で電話が不通、停電となった。

## 災害対策

村内全域に対し自主避難を呼びかけ、一部の集落には避難勧告を発令したが、急峻な地形の十津川村では安全と言い切れる避難場所はなく、避難先で被災された方もいた。主要道路は土砂崩れや

## 災害直後の復旧対策

落橋のため寸断され、役場職員約120人の内、被災直後に登庁できた職員は全体の6割ほどで、その内3割が消防団員となっており、団員活動を優先させた。・県知事に自衛隊災害派遣を要請、自衛隊と消防団員が連携し、行方不明者の捜索、土砂出し、物資運搬（主に徒歩）を行った。また、国土交通省の緊

## 災害を教訓にした対策

急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）及び現地情報連絡員（リエゾン）により、応急組立橋や照明車の派遣など大きな支援を受けた。各地区では電気やガスなどライフラインが途絶し、お互いに食糧を分け合うなどして助け合った。・情報伝達の充実（アマチュア無線との連携、衛星電話貸与、全集落へ発電機54台配



山津波が起こった所



十津川村役場での研修

備。・自主防災組織の活性化（使える防災マップ作り、各自の備蓄は1週間分を目安に）。・役場職員の危機管理体制の見直し。・災害応援協定の締結（ならコープと災害時の物資供給に関する協定締結）。災害から2年が経っていたが、深層崩壊の爪痕は、現在も大きく山肌を削っており、当時の様子を生々しく留めていた。急峻な山々に囲まれ、山間部をぬうように道路が通っている十津川村と本町は地形が大変似通っており、いつ十津川村のような甚大な被害が、どこで起こってもおかしくない。現在、本町では地域防災計画の見直しを行っている。大災害に対し、町民一丸となって備えに取り組むべく、議会も率先して行動していきたい。

# ここが聞きたい

# Q & A

## — 第6回 (10月) 臨時会 —

### ○工事請負契約

■平成25年度生活近代化事業土居簡易水道基幹改良工事請負契約の締結について

契約の方法

指名競争入札

契約金額

5千880万円

契約の相手方

栄宝生建設 株式会社

継続事業で、国の生活基盤近代化事業により、土居簡易水道の基幹改良工事を行うもの。

問 橋本議員

工事の通行止めで、近隣の方が困っている。時間帯の変更など考慮できないか。

答 津野池川振興課長

工事の時間帯については、落札業者と協議をし、近隣の方の負担にならないよう計画する。

問 岡田議員

この入札で、以前指名していた業者を外した理由は。



答 竹本総務課長

給水施設工事の内容で、国家資格が必要と判明したが、以前の指名業者にはその国家資格者を有する者がいなかったため、再度指名を行った。

問 山口議員

工事が完了するまでの間、路面が悪くモーターや手押し車のかたが危険であるため、気を付けて欲しい。また、竹ノ谷の上部に位置する人家の水圧が非常に低い。一度調査を。



答 津野池川地域振興課長

工事施工途中の清掃整地などは業者に指導をする。水圧が低い人家に対しては調査を行い、検討したい。

### 問 若藤議員

契約の相手方は現在、森の高齢者福祉センターを建設しているが、町外の生コン組合に加入していない会社の生コンを使用しているのは事実か。



答 吉田仁淀総合支所長

5月27日現在、生コン組合には加入していない。

### 討論

反対討論 若藤議員

住民のライフラインに関する重要な工事そのものには賛成だが、契約の相手方が、工事の基礎となる生コンを、地元が生コン会社が数社あるにもかかわらず町外から、しかも生コン組合に加入していない会社の生コンを使用するなど、言語道断であり、反対する。

賛成討論 なし

### 反対者

西森 常晴  
坂本 伝一  
西森 久雄  
農本 規仁  
若藤 敏久

### 賛成者

橋本 眞一  
岡田 良成  
山口 芳正  
野村 安夫  
藤野 格昭

採決で5対5の可否同数となったため、片岡政徳議長の議長採決で可決。



土居簡易水道工事

## ○追認

## ■財産の取得について

平成20年度（繰越）仁淀川町ごみステーション整備事業

## 契約の方法

指名競争入札

## 契約日

平成21年7月27日

## 契約金額

694万3千円

契約の相手方

第一化成 株式会社

平成21年7月27日に契約済みの平成20年度（繰越）仁淀川町ごみステーション整備事業は、予定価格が議決を要するものであったため、議会の追認を求めるものである。

## 問 橋本議員

仁淀川町のごみステーションに集積箱は何個くらい設置したのか。費用はどうかっているのか。



## 答 大野町民課長

平成21年度に、大きさの異なるA型、B型合わせて106個を町内に設置。その後も、購入金額の8割を町が補助している。

## 問 西森常晴議員

かごの容量不足の箇所があるが改善策は。また、ネットの交換費用はどう

なっているのか。

## 答 大野町民課長

区長が気を付けてくれているため、現在、改善が必要な箇所はないと把握しているが、今後気を付けていく。ネットの交換費用については、今年度は全額町負担。

## ■財産の取得について

平成21年度仁淀川町消防団池川分団ポンプ車購入事業



21年度に購入されたポンプ車

## 契約の方法

指名競争入札

## 契約日

平成21年8月14日

## 契約金額

2千326万8千円

契約の相手方

株式会社 藤島

平成21年8月14日に契約済みの池川分団ポンプ車購入事業は、予定価格が議決を要するものであったため、議会の追認を求める。

## ■財産の取得について

平成21年度仁淀川町消防団大崎・名野川分団小型動力ポンプ付積載車購入事業

## 契約の方法

指名競争入札

## 契約日

平成21年8月14日

## 契約金額

1千350万3千円

契約の相手方

有限会社 濱田ポンプ商会

平成21年8月14日に契約済みの大崎・名野川分

団小型動力ポンプ付積載車購入事業は、予定価格が議決を要するものであったため、議会の追認を求める。

## ■財産の取得について

戸籍総合システム・ブックレス機器更新事業

## 契約の方法

随意契約

## 契約日

平成22年5月31日

## 契約金額

1千795万5千円

契約の相手方

四国情報管理センター株式会社

平成22年5月31日に契約済みの戸籍総合システム・ブックレス機器更新事業は、予定価格が議決を要するものであったため、議会の追認を求めるもの。

## 問 若藤議員

随意契約のできる範囲内の金額は定まっているはずだが。

## 答 片岡企画課長

すでにある戸籍のシステムの機器が古くなり、新しい機器に更新する事業。他の業者では現在のシステムの中身がわからない、また個人情報に関わるため、随意契約となっている。

## ■財産の取得について

平成25年度仁淀川町パソコン購入事業

## 契約の方法

指名競争入札

## 契約日

平成25年5月23日

## 契約金額

756万2千円

契約の相手方

有限会社 高知事務機

平成25年5月23日に契約済みの平成25年度仁淀川町パソコン購入事業は、予定価格が議決を要するものであったため、議会の追認を求める。



# ここが聞きたい

# Q & A

## — 第 7 回 (12月) 定例会 —

### ○専決処分の報告

■物損事故に係る和解について

#### 事故の概要

平成25年10月15日に町道椿山線を通行中の自動車に、道路の側溝蓋が跳ね上がり、車両底部に接触し損害を与えた事故。

#### 和解の内容

(1) 町は、相手方に損害賠償金として、4万2千円を支払う。

(2) 町及び相手方は、本件事故に関し、前項の金額以外に一切の債権債務関係がないことを確認する。

### ○条例の改正

■職員の修学部分休業に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員法の改正に伴い、修学部分の休業の期間を2年以内から、修学が必要と認められる期間に変更するもの。

(可決 全員)

■仁淀川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

大規模災害からの復興に関する法律が施行されたことに伴い、国、他の地方公共団体から派遣された職員に対して、災害派遣手当を支給することができるよう条例を改正するもの。

(可決 全員)

■仁淀川町税条例の一部を改正する条例について

公的年金などに係る町民税の納税義務者が他市町村に転出した場合も、特別徴収を継続する事とする、特別徴収対象年金所得者の除外規定の見直しを行うものなど。

(可決 全員)

■仁淀川町立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例について

児童数減少などにより平成26年度から大崎小学

校を池川小学校に統合する事となったため、条例を改正するもの。

(可決 全員)

■仁淀川町国民健康保険高額医療費資金貸付条例の一部を改正する条例について

仁淀川町税条例の改正により、延滞金の割合が引き下げられたことに伴い、条例を改正するもの。

(可決 全員)

■仁淀川町介護保険条例の一部を改正する条例について

仁淀川町税条例の改正により、延滞金の割合が引き下げられたことに伴い、条例を改正するもの。

(可決 全員)



大崎小学校 (3月閉校になる)

■仁淀川町国民健康保険  
除税条例の一部を改正  
する条例について

国保税の課税の特例について上場株式などにかかる配当所得などの分離課税に、所要の規定の整備、及び譲渡所得などに分離課税を新設するもの。  
(可決 全員)

■仁淀川町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

仁淀川町税条例の改正により、延滞金の割合が引き下げられたことに伴い、条例を改正するもの。  
(可決 全員)

○指定管理者の指定

■仁淀川町高齢者生活福祉センター「なごみの里」の指定管理者の指定について

団体名  
有限会社 ぬくもり介護センターおのおの

指定の期間

平成26年4月1日～  
平成27年3月31日

問 若藤敏久議員  
指定管理者の募集の委託料など詳細、条件は。



答 吉村仁淀健康福祉課長

指定管理者の募集要綱を作成、仕様書を設けて収支計画書を提出してもらっている。

「なごみの里」の人件費や光熱水費などの維持費は全額町が負担。

「ひなた荘」は、本来なら独立採算となるべき施設だが、運営初年度であり、水道光熱費や消防、電気設備などに関する法定検査料など、収支計画書に見積もることができなかった。

指定管理者選定審議会の中で、そういった費用については今後の協定段階で指定管理料に含めてもらいたい旨の提案を受けている。

問 西森常晴議員  
この職員の立場は公務員と同じようなものになるのか。

答 竹本総務課長

指定管理者ではあるが、公務員という事にはならない。

問 西森常晴議員

指定管理者への指導をお願いしておく。

答 吉村仁淀健康福祉課長

議決をいただき、協議に入った段階で、十分気を付けるよう指導していく。  
(可決 全員)

■仁淀川町ディサービスセンター「ひなた荘」の指定管理者の指定について

団体名  
有限会社 ぬくもり介護センターおのおの

指定の期間

平成26年4月1日～  
平成27年3月31日  
(可決 全員)

○平成25年度補正予算  
■平成25年度仁淀川町一般会計補正予算(第4号)について

移住支援補助金にあてたための町づくり基金繰入金など、2億5千706万2千円を追加し、80億804万3千円とする。

問 若藤議員

自然学園に関しては、新聞でも叩かれており、地域の理解を得る事が一線である。町長から要望があれば、いつでも地元と話しをする。

また、今まで空き家であった所に、急に人が入ってきて移住促進と言われても、地元の理解は得られない。もっと慎重に。

答 大石町長

移住促進については、地元の理解が一番大事である。地元の方との繋がりについては今、担当者に指導を徹底しているところである。

問 山口芳正議員

移住促進交流拠点施設

について、最初に議会にあった話と、後からNPO法人から聞いた話では内容が異なっており、後の話しであれば、反対していた。これからは手順を踏んで欲しい。

答 大石町長

指定管理者のNPO法人と、ずれがあったようだ。今後は気を付ける。

問 山口議員

緊急雇用委託業務の内容容は。



答 大野仁淀地域振興課長補佐  
県からの補助金で、別枝・沢渡地区の茶園農家が、茶加工品の開発販売など行っていくもの。

問 岡田良成議員

子ども子育て支援新制度電子システム構築等事業費補助金の説明を。



建築中の仁淀福祉センター（高齢者棟）



答 谷平教育次長

子ども・子育て支援5  
力年計画の制定と並行  
し、システムの構築を行う  
もの。

問 西森常晴議員

旧仁淀村の道路には袋  
小路がない。このノウハ  
ウを旧吾川、池川にも活  
かしてもらいたい。

答 仁淀地域振興課長補佐

旧仁淀村においては、  
袋道を作らないという意  
思統一の下、推進委員が  
地権者の了解を得て進め  
たその成果。

問 野村安夫議員

消防無線デジタル化負  
担金について、佐川町と  
越知町と仁淀川町の額の  
違いは。

答 竹本総務課長

本町は、消防団の組織  
が大きく、経費に差が生  
じている。

(可決 全員)

■平成25年度仁淀川町  
介護保険特別会計補正  
予算(第3号)につい  
て

介護給付費等の見込み  
による調整で、2千382万  
3千円を追加し、11億8  
千755万6千円とする。

(可決 全員)

■平成25年度仁淀川町  
簡易水道事業特別会計  
補正予算(第2号)に  
ついて

電気料金の値上がり  
に伴う光熱水費など、219万  
9千円を追加し、1億6  
千609万5千円とする。

(可決 全員)

■平成25年度仁淀川町  
農業集落排水事業特別  
会計補正予算(第1号)  
について

施設の老朽化に対応す  
る修繕料など、169万を追  
加し、4千460万6千円と  
する。

(可決 全員)

■平成25年度仁淀川町  
観光センター等管理運  
営事業特別会計補正予  
算(第2号)について

宿泊利用者増に伴う宿  
直委託料、27万3千円を  
追加し、2千836万3千円  
とする。

(可決 全員)

■林道桐見川白石川線  
等管理組合の規約の一  
部変更について

解散による事務の承継  
並びに決算の審査、及び  
認定にかかる事務につい  
て規約に追加しようとし  
るもの。

(可決 全員)

■林道桐見川白石川線  
等管理組合の解散につ  
いて

事業の完了により、初  
期の目的を達成したため、  
組合を解散しようとする  
もの。

(可決 全員)

■林道桐見川白石川線  
等管理組合の解散に伴  
う財産処分について

組合の解散に伴い、本  
町と越知町との間で財産  
の帰属、及び残余財産の  
帰属割合を定めようとし  
るもの。

(可決 全員)

■町道の認定について

路線名  
成川大野線  
延長  
2千132m

現在、林道として管理  
しているが、利用実態に  
鑑み町道として認定、管  
理しようとするもの。

(可決 全員)



仁淀川町出店日曜日





10月13日に行われた県消防操法大会 ポンプ車操法（森分団）

## 日記帳

25年9月		10月		12月	
8日	仁淀中学校体育祭 下名野川地区敬老会 第5回定例議会 議会だより特別委員会	2日	第6回臨時議会 議会だより特別委員会	12日	第57回全国町村議会 議長会全国大会 (東京都)
10日	森地区敬老会	5日	大崎小学校運動会 議会だより特別委員会	16日	季視察研修 (富士河口湖町)
12日	森地区敬老会	15日	議会だより特別委員会	22日	佐川高等学校創立90周年記念式典・祝賀会 全員協議会 議会運営委員会
14日	大崎地区敬老会	26日	ねりんピックよさこい高知総合開会式 (高知市)	26日	
15日	長者地区敬老会	30日	トップセミナー (高知市)		
16日	正ノ石地区敬老会				
22日	池川中学校運動会				
24日	四国四県町村長・議長大会(高知市) 議会議員県外視察研修 (奈良県十津川村)	1日	高知県戦没者追悼式 (高知市)		
25日	別府小学校運動会	5日	第54回四国地区町村議会議長会研修会 (愛媛県松前町)		
27日	長者小学校運動会	10日	中津溪谷 紅葉まつり		
29日	池川小学校運動会				

## コラム

大崎小学校の  
思い出

五・六年と続いて吉田先生が担任になりました。あんまりうれしくなかったです。いつも楽しくて、こわい先生でした。

ンスはあやのちゃんと考えてくれました。それに色コールも副団長の結可ちゃん全部考えてくれました。いい副団長と思いました。練習でぼくは、大声を出していました。声がかれて、かぜにもなりました。本番の時、練習より大声を出しました。いい気分になりました。これまでやってきたかいがありました。

ぼくは、そうじの班長になりました。運動会の際は、応援団長にもなりました。がんばって、エールなどやりました。ダ

今、まだ六年生だけど、ぼくは中学生になってもがんばりたいです。特に勉強をがんばりたいです。

六年 大崎 智博

## 編集後記

平成26年の幕開けは、お天気にも恵まれ穏やかでしたが、議会は、合併してから3回目の議員選挙を迎えました。

この号が、皆様のお手元に届くころには、新しい編集委員にバトンタッチをしていると思います。この4年間、皆様にかかりやすく、読みやすい紙面を目指して編集に熱意を傾けてきました。

至らぬ点もあったかとは思いますが、今後とも「議会だより」をよろしく願います。

議会だより編集委員会  
(西森常、農本、若藤、山口、藤野)

※読後のご感想、ご意見をお寄せください。

(仁淀川町議会事務局)

☎ 35-11081

〒吾川郡仁淀川町大崎

124番地

※議会を傍聴しませんか(日程は、防災無線等でお知らせいたします。)